

# 介ゴもエコ！？

～無駄を省いて風通しの良い業務を～

社会福祉法人 サン・ビジョン

デイサービスセンターグレイスフル日義

木下 鼓・桑原 由美子

キーワード：ポイントケア・業務の流れの見直し・時間の有効活用

## 【はじめに】

当デイサービスでは、平成23年1月より、パソコン・ハンディ端末・バーコード等を活用した当法人独自の電子記録システム「ポイントケア」を導入し、それまで時間のかかっていた記録時間が大幅に減少した。しかし、その時間を有効活用できておらず、また、今年度に入り職員の異動により、新しい職員・勤務形態のバラツキから、従来の業務の流れでは、利用者様との密な関わりや職員同士の連携が難しい状態になっていた。その為、業務を見直し、時間を有効活用することによって、利用者様との良い関わりがもて、職員同士の連携が取れるよう取り組みをした。

## 【具体的な取り組み】

主に介護に関わっている職員（介護職・看護職）に「時間をとられてしまう業務は何か」「職員同士の連携が難しいのは何故か」についてアンケートを実施した。その結果、①当日帰りの配車表・翌日朝の配車表作成に時間を取られる。②勤務形態により、サービス提供時間帯の途中で終業する職員がいるため、引き継ぎが上手くいかないという回答が上がった。

- ①の結果から、今まで、サービス提供時間中に送迎の配車を組んでいた職員（業務リーダー）が、配車表作成をやめ、送迎後の翌日準備の一環として行うこととした。また、この業務リーダーは以前は連絡帳も手書きで作成していたが、ポイントケア入力により、時間短縮が図れ、そこでも時間が空く結果となったため、午後のレクに配置する。
- ②の結果から、途中で帰る職員の終業ま

で担当業務を終えるような流れを考え、その後の業務の引き継ぎがスムーズに行えるようにする。

## 【成果と効果】

- ①配車表作成を利用者様送迎後に行うことで、職員の気持ちに余裕が出来、利用者様に向き合うことができた。また、利用者様の午後の活動の充実化も図れる結果となり、職員からは「日中の時間や気持ちにゆとりができた」利用者様からは、「好きなレクが選べて楽しい」という声が聞かれた。
- ②業務の流れを改善することで、途中で終業する職員が、他の職員に気兼ねなく退社でき、他の職員もその後の業務を無理なく引き継げるようになった。

## 【課題・考察・まとめ】

- 業務改善をしたことで、気持ちに余裕をもって仕事に取り組めるようになった。
- 今まで、午後は集団での体操レクを行っていたが、職員を複数配置できるようになったことで、利用者様がレクを選択できるようになった。それにより利用者様が選択する楽しみと、自己決定をする機会が多くなった。
- 午後レクに職員を多く配置でき、利用者様がそれぞれ好みのレクに参加されるため、職員一人当たりの対応利用者様が少なくなり、個々に関わりを持てるようになった。
- 今後の課題として、職員の異動や新規採用の際、スムーズに業務ができるよう、この取り組みを確実に定着させ引き継いで行くことが重要である。